



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社エムアップ 上場取引所 東
 コード番号 3661 URL http://www.m-up.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 美藤宏一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務経理部長 (氏名) 藤池 季樹 TEL 03-5467-7125
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	830	△6.0	111	△22.8	115	△21.0	79	△23.3
28年3月期第1四半期	883	1.5	144	△3.9	145	△3.7	103	18.4

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 9百万円 (-%) 28年3月期第1四半期 180百万円 (144.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	10.66	10.64
28年3月期第1四半期	13.91	13.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	2,583	1,820	69.7	241.55
28年3月期	2,683	1,975	72.8	262.65

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,799百万円 28年3月期 1,952百万円

配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00
29年3月期	-	-	-	-	-
29年3月期(予想)	-	0.00	-	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
通期	3,500	△6.3	500	25.9	500	34.8	310	37.2	41.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※当社は、予算編成を通期ベースで行っており、業績の進捗管理およびその評価は通期でのみ実施しているため、第2四半期(累計)期間における業績予想については、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	7,450,000株	28年3月期	7,450,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	86株	28年3月期	86株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	7,449,914株	28年3月期1Q	7,451,092株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用や所得環境の改善に伴い、緩やかながらも回復基調が続いておりますが、このところは回復に弱さが見られており、そのテンポは鈍化しております。先行きについても、海外経済の不確実性の高まりや、金融資本市場の変動の影響など景気を下押しするリスクが懸念され、なお不透明な状況にあります。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及と利用の定着によるインターネットのモバイル化と多様化が進んでおり、今後も安定的な成長と拡大が期待されております。

平成27年3月末における携帯電話端末全体の契約数は1億5,648万件（前年同期比4.3%増）と、緩やかながらも増加を続けております（出所：総務省）。また、普及率を見ると、スマートフォンの普及率が67.4%（前年同期比6.8%増）と、初めてフィーチャーフォンの普及率を上回っており、スマートフォンに牽引され、インターネット関連市場も継続的に拡大しております（出所：内閣府）。

音楽やアーティスト関連の市場動向といたしましては、平成28年上半年（1月から6月まで）における音楽ソフト（オーディオレコード及び音楽ビデオ合計）の生産数量は106,118千枚（前年同期比5.1%減）、生産金額では123,439百万円（前年同期比4.6%減）と減少しておりますが（出所：一般社団法人日本レコード協会）、コンサート市場につきましては、平成27年の市場規模が318,634百万円（前年同期比15.9%増）と拡大が続いており（出所：一般社団法人コンサートプロモーターズ協会）、音楽やアーティストに対する底堅い需要が見られております。

このような外部環境の中、当社は、アーティストやタレント、声優、アニメまでの幅広いジャンルにおいて、ファンクラブサイトの運営、キャラクター、スタンプ、音楽、電子書籍といった多岐にわたるデジタルコンテンツの配信や、eコマースに至るまでを複合的に展開し、サイトや各事業セグメント間でのシナジー効果を発揮させることによって、収益の拡大と多様化を進めてまいりました。また、今後の事業拡大に向けた取り組みとして、新規事業の開発にも積極的に取り組んでまいりました。

事業の基盤となる有料会員につきましては、今後の流行が予想されるコンテンツのいち早い発掘と獲得を継続し、スマートフォン向けの新規サイト開設やコンテンツ配信を行い、会員数の増加に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は830百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は111百万円（前年同期比22.8%減）、経常利益は115百万円（前年同期比21%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は79百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

セグメントごとの概要は、以下のとおりであります。

①携帯コンテンツ配信事業

携帯コンテンツ配信事業につきましては、事業の基盤となる有料会員の増加を図るべく、引き続きアーティストや声優、タレントの新規ファンクラブサイトやメール配信サイトの開設を推進してまいりました。

また、「スゴ得コンテンツ」、「スマートパス」や「App Pass」といったキャリアの提供するスマートフォン向け月額使い放題サービスにおいて積極的なコンテンツ提供を行うと同時に、キャリアと共同で人気キャラクターを使用したキャンペーンを展開するなど、利用促進と収益拡大に努めてまいりました。

加えて、スマートフォン向けアプリやスタンプ等の配信や、アニメキャラクターを起用した写真集の販売など、今後へ向けた新たな施策も講じてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における携帯コンテンツ配信事業の売上高は740百万円(前年同期比6.5%減)、セグメント利益は181百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

②PCコンテンツ配信事業

PCコンテンツ配信事業につきましては、運営するアーティスト及びタレント等のファンクラブサイトにおいて、パッケージ商品やコンサートチケットの先行販売などを実施してまいりました。また、アーティストやタレントのオフィシャルサイトの受託制作など、他の事業セグメントも含め、将来の新たな収益獲得へと繋がることを見据えた事業展開を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるPCコンテンツ配信事業の売上高は44百万円(前年同期比15.1%減)、セグメント利益は8百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

③eコマース事業

eコマース事業につきましては、CD、DVD及びブルーレイといった音楽映像商品と、それに関連するアーティストグッズを中心に、当社による直販と大手レコード会社との提携によるレコード会社の公式販売サイトの運営管理の両面から、事業を展開してまいりました。

この他、アパレル商品の委託販売なども実施してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるeコマース事業の売上高は42百万円(前年同期比23.1%増)、セグメント利益は1百万円(前年同期は0.7百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,583百万円(前連結会計年度末比3.7%減)となりました。

流動資産は1,594百万円(同1.4%減)となりました。おもな内訳は現金及び預金772百万円(同2.8%増)、売掛金609百万円(同4.2%減)となっております。

固定資産は988百万円(同7.3%減)となりました。主な内訳は有形固定資産239百万円(同1.1%減)、投資有価証券517百万円(同15.9%減)となっております。

(負債の部)

流動負債は742百万円(同7.9%増)となりました。主な内訳は買掛金428百万円(同2.1%増)であります。

固定負債は20百万円(同2.7%増)となりました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の合計は1,820百万円(同7.8%減)となりました。主な内訳は資本金243百万円(同増減なし)、資本剰余金269百万円(同増減なし)、利益剰余金1,437百万円(同5.5%減)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後における我が国の経済は、雇用や所得環境の改善が続く中で、緩やかながらも景気は回復へ向かうことが期待されておりますが、新興国を中心とした海外景気の下振れ、英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性の高まり、金融資本市場の変動による影響も懸念されるなど、先行きは不透明な状況にあります。

一方で、当社の属するインターネット関連市場につきましては、スマートフォンの普及が一巡し、それに伴ってコンテンツサービスもスマートフォン向けが中心となる中で、日々新たなサービスが登場するなど、モバイルビジネスを取り巻く環境は大きく変化し続けております。

こうした事業環境の中、当社は技術及び市場動向の影響を受けにくい、ファンクラブサイトを事業の基盤に新規有料会員の獲得を推進しております。また、スマートフォン向けのアプリの配信や他社プラットフォームへのコンテンツ提供、新規事業への取り組みなど、今後へ向けた新たな事業領域の開拓も進めております。

しかしながら、スマートフォン向けコンテンツ市場は黎明期にあり、技術革新やサービスの流行と陳腐化の流れは早く、それらを的確に予測することは困難であります。

当社といたしましては、これまで以上に迅速な事業展開を進めていく方針であります。携帯コンテンツ配信事業の業績予想は、スマートフォン市場の動向を最大限に加味し、保守的なものとしております。また、ファンクラブサイトにつきましては、その開設時期はアーティストや事務所等の意向も反映され決定されます。そのため、予算策定時点において開設時期が決定していないファンクラブサイトについては保守的な見通しを策定しております。

費用面では、販売に比例し増減するロイヤリティ等や、採用の強化に伴う人材関連費用の増加を見込んでおります。

以上により、今期（平成28年3月期）の見通しについては、売上高3,500百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益500百万円（前年同期比25.9%増）、経常利益500百万円（前年同期比34.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益310百万円（前年同期比37.2%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（会計方針の変更）
（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）
法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(4) 追加情報
（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日）を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	751,759	772,574
売掛金	635,773	609,141
商品	49,310	50,250
その他	214,684	197,171
貸倒引当金	△34,358	△34,281
流動資産合計	1,617,168	1,594,855
固定資産		
有形固定資産	241,788	239,055
無形固定資産		
のれん	36,187	31,844
その他	5,984	21,544
無形固定資産合計	42,171	53,389
投資その他の資産		
投資有価証券	615,022	517,169
その他	199,160	210,220
貸倒引当金	△31,833	△31,113
投資その他の資産合計	782,349	696,276
固定資産合計	1,066,309	988,721
資産合計	2,683,478	2,583,577
負債の部		
流動負債		
買掛金	420,093	428,972
未払法人税等	26,084	32,362
賞与引当金	30,848	17,324
役員賞与引当金	30,000	7,500
その他	181,194	256,310
流動負債合計	688,221	742,470
固定負債		
資産除去債務	11,787	11,796
その他	8,112	8,644
固定負債合計	19,899	20,441
負債合計	708,120	762,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,716	243,716
資本剰余金	269,983	269,983
利益剰余金	1,521,772	1,437,323
自己株式	△48	△48
株主資本合計	2,035,423	1,950,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△82,519	△151,474
その他の包括利益累計額合計	△82,519	△151,474
新株予約権	18,648	18,648
非支配株主持分	3,805	2,516
純資産合計	1,975,357	1,820,665
負債純資産合計	2,683,478	2,583,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	883,413	830,377
売上原価	507,176	514,955
売上総利益	376,237	315,422
販売費及び一般管理費	231,361	203,559
営業利益	144,875	111,863
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	357	1,161
受取賃貸料	326	374
商標権譲渡益	-	2,000
その他	42	54
営業外収益合計	727	3,589
営業外費用		
投資有価証券売却損	-	307
為替差損	-	79
営業外費用合計	-	386
経常利益	145,602	115,065
特別利益		
新株予約権戻入益	1,260	-
関係会社株式売却益	8,024	-
特別利益合計	9,284	-
税金等調整前四半期純利益	154,887	115,065
法人税、住民税及び事業税	33,586	31,742
法人税等調整額	17,685	5,163
法人税等合計	51,272	36,905
四半期純利益	103,614	78,160
非支配株主に帰属する四半期純損失	-	△1,288
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,614	79,449

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	103,614	78,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,445	△68,954
その他の包括利益合計	76,445	△68,954
四半期包括利益	180,060	9,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,060	10,494
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△1,288

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	携帯 コンテンツ 配信事業	PC コンテン ツ 配信事業	eコマース 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	792,278	52,880	34,178	879,336	4,076	883,413	—	883,413
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	4,038	4,038	△4,038	—
計	792,278	52,880	34,178	879,336	8,114	887,451	△4,038	883,413
セグメント利益 又は損失(△)	210,265	8,988	△735	218,519	△2,316	216,202	△71,327	144,875

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゆるキャラ®関連の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△71,327千円には、セグメント間取引消去9,074千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△80,401千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	携帯 コンテンツ 配信事業	PC コンテン ツ 配信事業	eコマース 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	740,799	44,917	42,061	827,778	2,598	830,377	—	830,377
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	740,799	44,917	42,061	827,778	2,598	830,377	—	830,377
セグメント利益 又は損失(△)	181,528	8,444	1,994	191,968	△7,978	183,989	△72,126	111,863

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△72,126千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。